

信濃美術館整備事業

県民リレー・ワークショップ

これまでの意見交換会等から見たもの Ver. 2
(2017. 09. 02 現在)



●ミニ・フォーラム
(2017. 2. 24 長野/3. 14 飯田
/4. 13 松本/4. 26 小諸)



▲ミニ・フォーラム
in 信州大学
(2017. 5. 29
信州大学松本キャンパス)



■キックオフ・フォーラム
(2017. 7. 15 長野市
若里市民文化ホール)



▼長野県文化芸術議員懇談会
北信美術会との懇談会
(2017. 8. 25 県庁)



◎県民リレーWS No. 1&2
(2017. 9. 02 長野市役所)
(2017. 9. 02 上田駅前パレオ)

◆長野商工会議所女性会との懇談会
(2017. 8. 29 長野商工会議所ビル)

美術館全体に望むこと

- 各世代に合った場所であって欲しい
- 子どもの目線に立った美術館であって欲しい
- ◎ 家族で気軽に行ける美術館であって欲しい
- ▲ 気軽に立ち寄れる場としての側面もあって欲しい
- 憩いの場であって欲しい
- フォーマルな雰囲気と気軽さが同居した美術館がよい
- 美術に興味がない人も訪れたい美術館がよい
- 敷居が低くて多面性のある美術館がよい
- 展示以外にも建物や他のデザインに楽しみを感じられるとよい
- ◎ 気軽に入館して、無料ゾーンを見て回れるとよい
- 無料ゾーンを充実して欲しい
- ▲◎ ミュージアムショップやレストラン等を充実して欲しい
- ◎ レストランを美術館内に設けることが難しければ、館外で民間を誘致してでも設置して欲しい
- ▲◆◎ 休憩スペースを充実して欲しい
- ◎ 車椅子利用者も皆と同じ休憩所が使えるとよい
- 横になれる場所があるとよい
- ▲ 屋外に広場のようなスペースがあるとよい
- ◎ 機能性を重視した美術館であって欲しい
- 県内美術館の特性を踏まえた美術館のあり方を考える必要がある
- ユニバーサル展示の実現（触れる展示など）
- 収蔵庫の拡充
- ▲ 自ら美術について考えていく場になるとよい
- ▲ 陳腐化しない未来を予想した作り方を目標にして欲しい
- 観光客、地域の人々双方にとって魅力ある施設になるとよい
- 50年後も古びず、周辺景観と一体化した美術館であって欲しい
- 美術館の外壁を利用した野外上映会など、公園との一体利用が可能な計画になるとよい
- 作品鑑賞後に美味しいワインが飲めるとよい
- 県内情報や他の美術館の情報が入手できるとよい
- 地元の児童・生徒が親しめる施設になって欲しい

- 地下スペースには、吹抜けやサンクンガーデンなどを設けて閉鎖的にならないようにして欲しい
- 図書館はパブリックな場所に設置して欲しい
- ▲◆◎ ユニバーサルデザイン（音声ガイド、多言語対応含む）
- ▲ 学習スペースとしての役割
- ▲ 明るい雰囲気の建物にして欲しい
- ▼◆◎ 全ての人が鑑賞しやすい美術館にして欲しい
- ◆ 短時間で回れることもできるよう展示を選べるとよい
- ◆ 建物の外見も重要
- ◆ 旅行者が催事を知ることができる案内が必要
- ◆ 地下の防災利用は想定できないか
- ◆ 人々に愛されるパブリックスペースを設けてほしい
- ◎ 屋上は魅力的なので、荒天時でも使えるとよい
- ◎ 東側市道の地下は利用できないか
- ◎ 移動のためには、エレベータだけでなくエスカレーターもあるとよい
- ◎ 地下にスロープを作って行き来することはできないか

周辺との関わりで望むこと

- 善光寺と美術館との回遊性、自然に足が向くようになるとよい
- 既存の樹木を活かした森の中の美術館になるとよい
- 城山公園内の野外彫刻が活用されるとよい
- 公園内の治安を大事にして欲しい
- ◎ 城山公園は、これからも「憩いの場」であって欲しい
- ◎ 公園には、広葉樹も植えて欲しい
- 駐車場スペースを確保して欲しい
- ▼ 駐車場の確保
- ◎ 公園が駐車場だらけにならないよう公共交通の整備を
- 駅からの公共交通整備が重要
- 長野駅からの交通の便をよくしてほしい
- 長野電鉄からのアプローチ
- ◎ 城山プールや少年科学センター側からのアプローチも重要
- ▲◆ 駅前や善光寺からの誘導、案内の整備が重要

- ▼ 善光寺東庭園、城山公園との一体的整備が望ましい
- ◆ 美術館～城山公園～善光寺の距離感をつなぐ工夫
- 噴水にこだわりすぎず、広い視点で市と調整が必要
- ▼ 噴水をどう考えていくのか
- 善光寺から建物が見えるとよい
- ▲ 善光寺とマッチした建物がよい
- ▼ 善光寺と一緒に観光客誘致を考えるべき
- ▼ 周辺既存施設（NHK、蔵春閣など）や文教施設を踏まえた計画を
- ▼ 長野駅前から美術館行きのバスを走らせたいが、その待機所を計画できないか
- ▼ 東側からのアプローチは魅力的だと思う
- ◎ 長野らしい木の多い風景がよい

美術館の運営・活動について望むこと

- 芸術家を育てる施設となって欲しい
- 県内で活動している作家の展示、支援をして欲しい
- 若手作家の活動の場になって欲しい
- ▲◆ 若手の現代作家の作品が見られるとよい
- 若手作家と子どもたちの交流企画があるとよい
- ◆ 体験型の作品展示があるとよい
- ◎ 次世代育成を全県に展開する拠点になって欲しい
- 県内美術館との連携（巡回展などを含む）があるとよい
- 県内に限らず、全国の美術館との連携を目指すのがよい
- 県内小規模美術館への人的、金銭的援助をして欲しい
- 人材確保、体制整備を進めて欲しい
- ◆ 美術品の修復施設があるとよい
- 所蔵品のインターネット検索ができるとよい
- 県内地域差を補うような特典があるとよい
- 運営ボランティアを募集してはどうか
- 学校教育ではできない教育活動の提供をして欲しい
- ▲ 教育へのアプローチが欲しい
- 次世代育成活動に力を入れて欲しい

- ▲◆◎ここでしか展示されない作品や構成などの特別感があるとよい
- ▲◆ 独自の企画展、長野県だからできること
- ◆ 池田満寿夫のコーナーがあってもよいのではないか
- ▲ スタンプラリーのような遊び心があるとよい
- ▲ コレクション展のアピールをした方がよい
- ▲ オール信州としての美術館になって欲しい
- ◆ 県内の他の美術館とのコラボレーション企画
- ▲ 城山公園や善光寺との共同企画があるとよい
- ◆ 善光寺ライトアップと共同したナイトミュージアム
- ◆ 夜間の開館延長ができると仕事帰りに寄るとよい
- 善光寺とのソフト面での協力もできるとよい
- ▲ 口コミ波及効果へのアプローチを考えてもよいのではないか
- ▲◎ 普段美術館に来ない人へのアクションが必要
- ▲ 県内に分館を整備してはどうか
- ▲ クラウドファンディングの活用
- ▲◆ SNS 映えするフォトジェニック性や話題性
- ◆ 一部でも撮影可能にできないか（話題性）
- デジタル技術との融合をどう考えるか
- ◆ 近隣商店街との協力が必要（半券でのサービスなど）
- ◆ 音楽と美術のコラボレーションができるとよい
- ◎ 日展など大規模展覧会が開催できる展示室があるとよい
- ◎ 館長や学芸員の教育も大事
- ◎ 展示を見ながら、語らうことができるとよい
- ◎ IoTに活用で、来館者へのホスピタリティを補助できるとよい

県民ギャラリーに望むこと

- ▼ 十分な壁面の確保（ピクチュアレールの用意）
- 工芸や彫刻等の展示への対応
- 搬入路の整備
- 県展クラスの展覧会は、作品を一同に展示できる広さが欲しい
- ▼ 入口をできるだけ広く明るくして欲しい
- ▼◎ 雑務を行う準備室や作品の梱包材を置く場所があるとよい
- ▼ 県民ギャラリーと講堂は並列配置の方が使いやすい
- ▼ 高所作業をせずに済むような、機械仕掛はできないか
- ▼ 作品を二段掛けできる5mの天井高が欲しい
- ▼ 展示パネルの間隔は5mピッチが使いやすい
- ▼ 大規模利用だけではなく、間仕切りで小さくも使えるようにして欲しい
- ◆ 高齢者利用を考えると、地盤に近いほうが利用しやすい
- ◎ 出来上がった施設を工夫しながら使いこなしていきたい

設計者に望むこと

- ◎ 利用者の声に柔軟に対応してくれる建築家であって欲しい
- 基本設計の段階でも県民の意見を聞く場を設けて欲しい
- 長野県の気候に合った施設設計をして欲しい
- ▼ 雪への備えを十分にしたい
- ◎ 冬の景色をイメージしながら設計して欲しい
- 県産材の活用を検討して欲しい
- ◎ 県産材は木だけではなく、石もあるので活用して欲しい
- ▼ 東山魁夷館と新館の関係など、スタッフとよく打合せして欲しい
- ▼ 制限の多い場所であるが、しっかり計画して欲しい
- ▼ 木を活用し、善光寺の建物と融合を図って欲しい
- ▼ 地中熱利用などの環境技術の検討をして欲しい
- ◆ 県民の声をよく聞くことも大事だが、あれもこれもとなってしまうないようにして欲しい。美術館らしい美術館を。
- ◆ 商店街との意見交換の場を設けて欲しい
- ◎ 美術館では難しいと思うが、長野県のきれいな空気を館内に取り入れられるとよい
- ◎ 今後発達すると思われる新しい技術への対応ができるとよい

その他

- ◎ 開館時期は予定通りとして欲しい